

令和4年度 決算説明資料

令和5年10月4日

緑政土木局

目 次

	頁
(道路橋りよう総務費)	
1 境界確認申請について -----	1
2 弥富相生山線の現地保全に係る経費について -----	2
(道路維持費)	
3 道路上におけるへい獣処理について -----	3
(道路新設改良費)	
4 相生山緑地周辺の渋滞対策について -----	4
(交通安全施設費)	
5 未就学児の交通安全緊急対策について -----	5
6 通学路における交通安全緊急対策について -----	6
7 自転車通行空間整備について -----	7
8 都心部自転車対策の効果について -----	10
9 放置自転車の状況について -----	12
10 自転車等の放置および撤去台数について -----	14

1 境界確認申請について

都 市 名	令 和 4 年 度 申 請 件 数 (注 1)	申 請 受 付 か ら 境 界 協 議 ま で の 期 間 (注 1)	土 地 区 画 整 理 事 業 市 域 面 積 比 率 (注 2)
横 浜 市	約 1, 2 0 0 件	8 ~ 1 2 週間	1 8 %
京 都 市	約 1, 1 4 0	8	5
大 阪 市	約 3, 0 0 0	4 ~ 6	5 0
神 戸 市	約 1, 0 0 0	4	1 0
名 古 屋 市	6, 2 8 3	5	6 7

(注 1) 各都市への聞き取り

(注 2) 各都市のウェブサイトで公表している土地区画整理事業施行
面積を市域面積で除した割合

2 弥富相生山線の現地保全に係る経費について

年 度	決 算 額
平成 2 2 年度	3, 3 6 7 ^{千円}
平成 2 3 年度	3, 8 7 8
平成 2 4 年度	4, 1 6 3
平成 2 5 年度	3, 0 1 9
平成 2 6 年度	2, 7 9 7
平成 2 7 年度	3, 7 4 1
平成 2 8 年度	3, 5 2 8
平成 2 9 年度	3, 1 0 0
平成 3 0 年度	3, 0 2 7
令和 元 年 度	2, 9 8 3
令和 2 年 度	3, 1 4 5
令和 3 年 度	3, 0 2 6
令和 4 年 度	2, 9 5 6
計	4 2, 7 3 0

3 道路上におけるへい獣処理について

(1) 防護柵修繕工事の内訳

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
防護柵修繕	千円 1 4 0 , 4 3 8	千円 1 2 5 , 9 5 6
道路緊急復旧	1 0 6 , 0 7 7	1 1 8 , 9 2 2
計	2 4 6 , 5 1 5	2 4 4 , 8 7 8

(2) 道路緊急復旧におけるへい獣処理

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
件 数	件 7 2 9	件 6 7 8
金 額	千円 5 1 , 8 2 2	千円 5 3 , 3 7 9

4 相生山緑地周辺の渋滞対策について

(1) 箇所図



(2) 対策工事内容

ア 野並交差点

北行き車線における左折専用車線の追加

イ 島田交差点エリア（島田交差点から新島田橋西交差点）

西行き車線における直進車線の追加

(3) 効果検証結果

箇所	渋滞方向	交通量ピーク時間帯における渋滞長	
		対策前 (平成28年度)	対策後 (令和4年度)
野並交差点	北行き	260 m	70 m
島田交差点	西行き①	470	90
	西行き②	500	60

(注) 交通量ピーク時間帯は午前7時から午前9時

5 未就学児の交通安全緊急対策について

(1) 対策箇所数

令和3年度まで	令和4年度	合 計
箇所 825	箇所 17	箇所 842

(注)園外活動ルートにおける道路管理者が対応すべき総数は850箇所

(2) 令和4年度の対策内容

区 分	主 な 内 容	箇 所 数
歩 道	・歩道設置 ・側溝蓋設置	箇所 9
路 面 標 示	・十字マーク	3
防 護 柵	・ガードパイプ ・ボラード	2
そ の 他	・ラバーボール	3
計		17

(注)「その他」の箇所数については、他事業等で対策したものを含む。

6 通学路における交通安全緊急対策について

(1) 対策箇所数

令和3年度	令和4年度	合 計
箇所 277	箇所 210	箇所 487

(注) 道路管理者が対応すべき総数は494箇所

(2) 令和4年度の対策内容

区 分	主 な 内 容	箇 所 数
路面標示	・ 十字マーク	箇所 90
路肩カラー等	・ 路肩カラー	74
防 護 柵	・ ガードパイプ ・ 横断防止柵	19
道路標識	・ 通学路標識	19
そ の 他	・ 歩道舗装修繕	8
計		210

(注) 「その他」の箇所数については、他事業等で対策したものを含む。

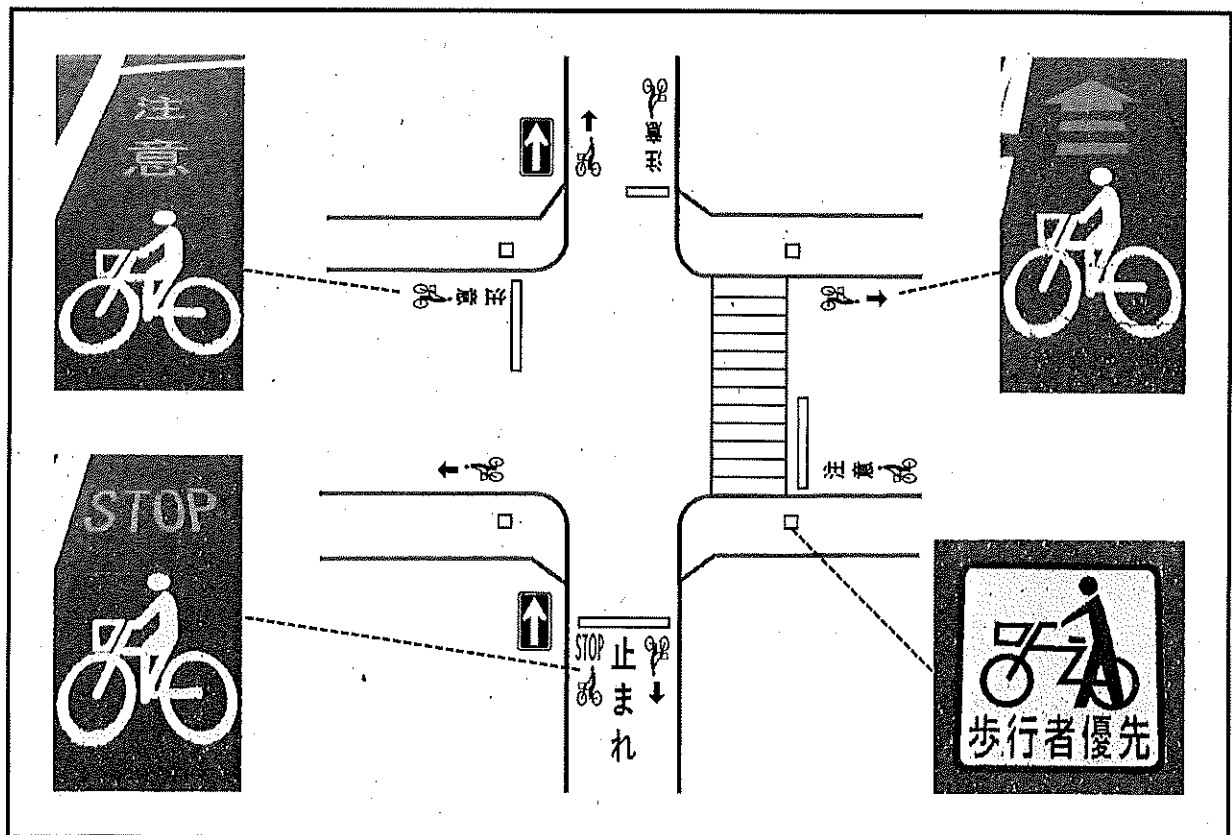
7 自転車通行空間整備について

(1) 今池地区における面的整備

ア 位置図

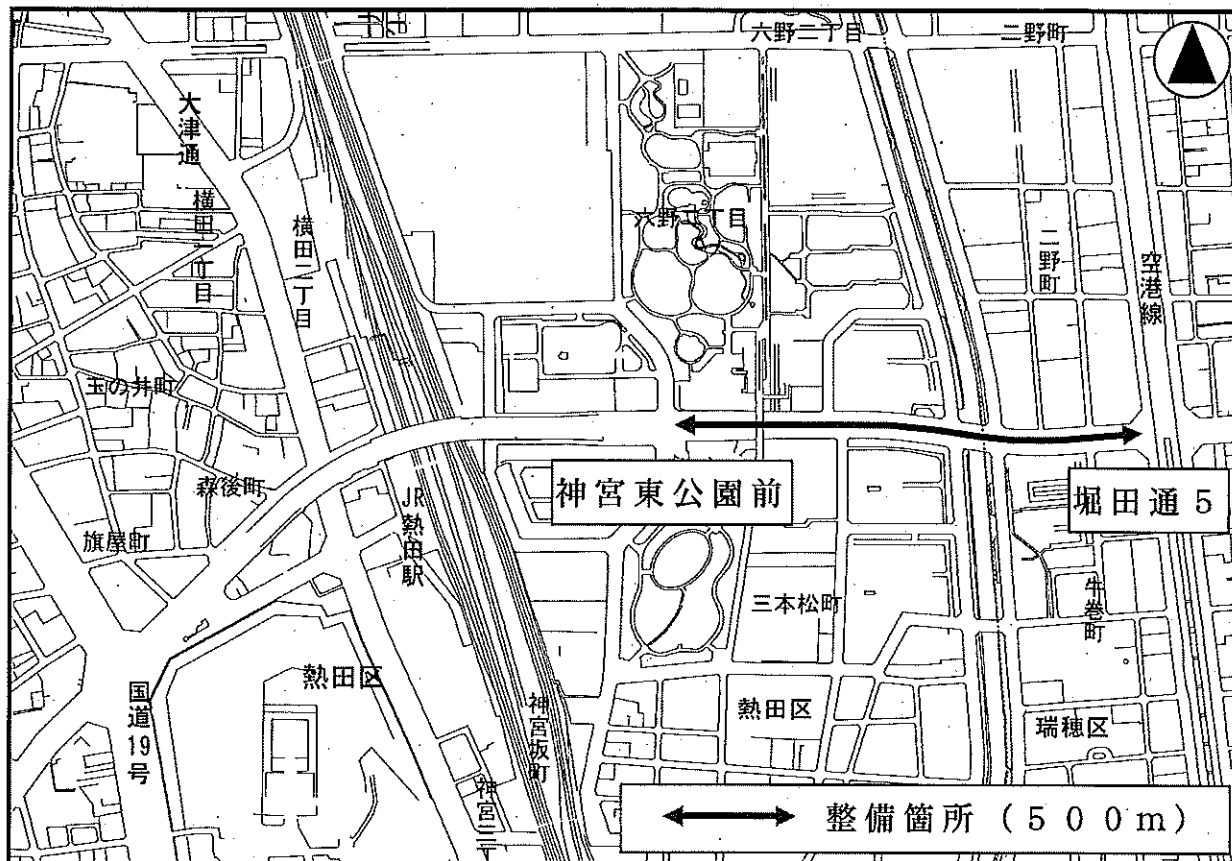


イ 整備イメージ

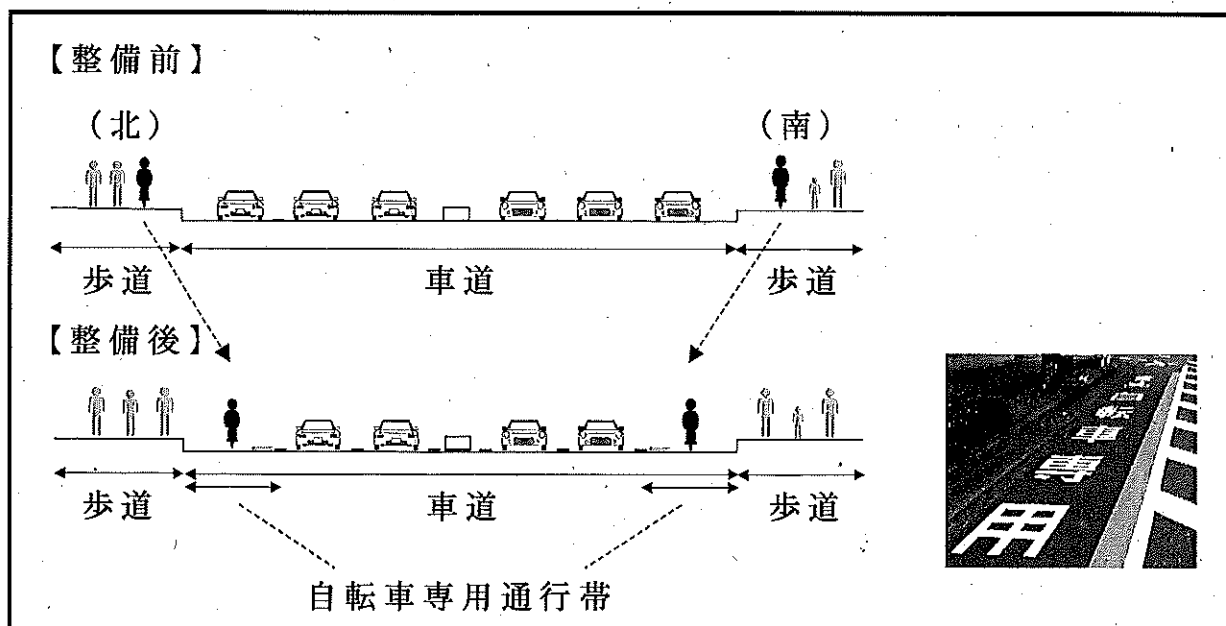


(2) 市道豆田町線における路線整備

ア 位置図

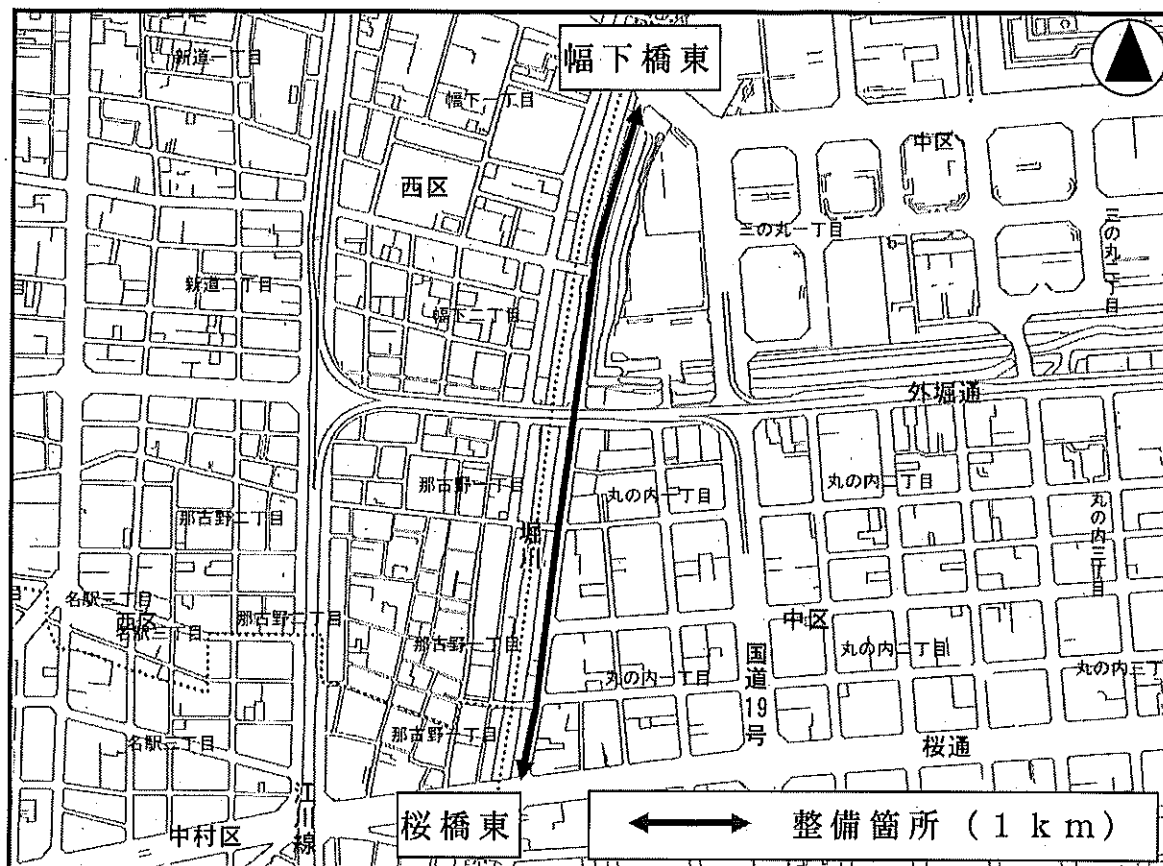


イ 断面図

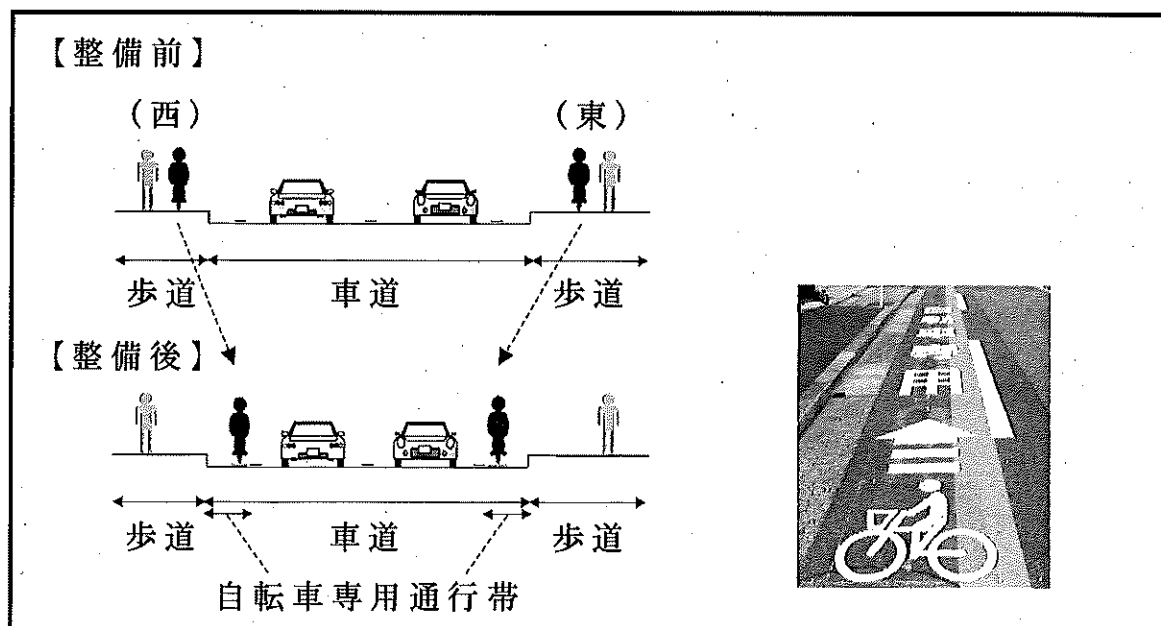


(3) 市道木挽町通における路線整備

ア 位置図



イ 断面図



8 都心部自転車対策の効果について

(1) 矢場町駅

ア 対策前



イ 対策後



(2) 高岳駅

ア 対策前



イ 対策後



9 放置自転車の状況について

(1) 放置台数が多い市区町村

順位	市区町村名	放置台数
1	名古屋市	5,718 135R
2	大阪市	2,552
3	札幌市	1,575
4	横浜市	1,471
5	神戸市	1,345

(注) 令和3年度国土交通省「駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果」による。

(2) 有料化7駅の放置台数

ア 令和4年度

駅名	放置台数	全国順位
栄	405 台	未実施
高岳	427	
久屋大通	663	
大須観音	312	
上前津	534	
丸の内	520	
矢場町	169	
計	3,030	—

イ 令和3年度

駅名	放置台数	全国順位
栄	706 台	4
高岳	549	6
久屋大通	944	2
大須観音	315	19
上前津	810	3
丸の内	519	7
矢場町	389	10
計	4,232	—

(注) 放置台数は、10月下旬から11月上旬に実施した自転車等駐車状況調査による。

10 自転車等の放置および撤去台数について

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度
放 置 台 数	11,567 台	10,682 台 <i>133台減</i>	8,331 台
撤 去 台 数	36,135	22,502	23,390

(注) 放置台数は、10月下旬から11月上旬に実施した自転車等駐車状況調査による。